

題「風」 鴨田 昭紀 選

特選

くじけても風がせなかをおしてくる

大竹市立小方小学校五年 村岡 駿太

【評】 人生は七転び八起き。努力をすれば必ず結果がついてくるものと信じて、決して諦めず何度も起き上がることです。

春の風みんなの心ぽつかぽか

廿日市市立佐方小学校三年 伊藤 杏

【評】 如何にも春を待ち望んでいた気持ちがひしひしと伝わってくる。特に下5のぽつかぽかの言い回しが面白い。

勉強で頭の中が暴風雨

廿日市市立佐方小学校六年 石丸 龍汰

【評】 学校の宿題や塾通いで忙しい毎日が目に浮かぶ見付けが面白い句。今は大変だと思うが、将来のためにも頑張ろう。

おにごっこ風をおいこしタツチする

廿日市市立地御前小学校三年 高見 駢

【評】 おにごっこやかくれんぼする光景も今ではあまり見なくなつた。風を追い越すくらい外で走り回つて欲しいが・・。

大逆転風向き変わる好プレー

廿日市市立佐方小学校六年 藤滝 龍馬

【評】 純余曲折の人生に通じるものがある。カーブやサンフレッチェも是非こうあつて欲しいものだ。

風にのせ平和の手紙とどけたい

そよ風に思いをのせてとどけます

やつて来てまた去つて行く風の歌

夏色にそまつた風がほほなでる

争いが終わつたあとは重い風

うれしいと幸せの風吹いてくる

強風があせる私を責めている

冬の夜家に入れてとねだる風

ここちよいエアコンつけて本を読む

あのころの時の流れは風のよう

廿日市市立地御前小学校四年 牧野 大輝

廿日市市立佐方小学校六年 小倉 輝夢

廿日市市立地御前小学校六年 向井 優月

庄原市立比和中学校一年 光元杏香里

大竹市立小方小学校五年 國武 知矢

大竹市立大竹小学校五年 村上 結香

大竹市立小方小学校六年 海井明香里

広島市立中山小学校四年 古谷 栄依

廿日市市立地御前小学校三年 原本みのり

大竹市立小方小学校六年 柴原 桜介

車窓開け耳で奏でる風の音

大竹市立小方小学校六年 谷 鳩太

うわさはね風にのつてねやつてくる

大竹市立大竹小学校五年 立川 實希

天にいる母さんの声風とくる

大竹市立小方小学校六年 藤本 康介

せんたく物風にたのしくおどつてる

広島市立千田小学校四年 山田 歩夢

風がふく北風こぞうきたのかな

廿日市市立佐方小学校四年 沖 政宗

この葉まうどこかさみしい秋の風

廿日市市立地御前小学校四年 小山尚之助

風にのるぼくの気もちがまい上がる

廿日市市立地御前小学校四年 德永 淩

そよ風も君の気持ちもさわやかだ

廿日市市立地御前小学校五年 堤 淩亮

すすきゆれ月を見ながらだんご食う

廿日市市立地御前小学校六年 南原 稜

そよ風がきみの心をおどらせる

廿日市市立地御前小学校六年 掛本 結日

春風がわくわくさせる新学期

大竹市立小方小学校六年 車屋 実咲

いじわるなかぜにあまがさうらがえる

広島市立大町小学校一年 筒井 水宙

気持ちよいクーラーの前一人じめ

大竹市立大竹小学校四年 岩岡 良

とりたちは平和な風を知つてゐる

廿日市市立佐方小学校二年 西本 明叶

風と風どちらが先にとばせるか

廿日市市立佐方小学校五年 石田 理菜

声えんが追い風になりホームラン
春風にあたるとみんな笑顔だよ

廿日市市立佐方小学校五年 田村 直輝
廿日市市立佐方小学校五年 隅 栄二郎

風がふく未来へ続く広い空

廿日市市立佐方小学校五年 新田 航己

風にのりあの子に気持ちとどくかな

廿日市市立佐方小学校六年 中原 悠月

北風をまとい登校冬の朝

廿日市市立佐方小学校六年 堤 清葉